

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

January / 13 / 2017 # 46

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『○○○○○といえば』

[2] Pepeのひとりごと

『アンサンブル』

[3] おすすめ動画

『CZARDAS from album "GENESIS" -Grant Jameson』

『Glenn Van Looy with In League with Extraordinary Gentlemen』

[4] 演奏のヒント！

『連符の練習』

[5] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『○○○○○といえば』

2017年に入りましたね！ :D

年末年始といえば、ジルヴェスター・コンサートやニュー・イヤー・コンサートですね。

どちらもオーケストラでやらせていただきましたが、どちらもとても賑やかに過ごすことができました！ :)

みなさんの中には、毎年ウィーンフィルのニュー・イヤー・

コンサートをテレビで観る方もいると思います（・・・僕は観ていませんが。涙）。  
いかがでしたか？

2017年もみなさんにとって素敵な音楽に満ちた一年となりますように！！

## [2] Pepeのひとりごと

### 『アンサンブル』

吹奏楽部の中で楽器を吹き始めて育ってきた僕は、寒くなってくるとアンサンブル・コンテストの思い出が自然と頭の中に出てきます。:)

大勢での合奏も、小さなアンサンブルの集合体です。  
このアンサンブルの醍醐味が、音楽演奏の醍醐味であると言っても過言ではないと思います。

でも、アンサンブルと一言で言ってもいろいろとあるんですよね。  
和音を合わせることもアンサンブルではあるのですが、それだけではいい音楽にはならないんです。  
和音を合わせることはもちろん大切で必要なことなのですが、それだけだといい音楽ではないと僕は思って過ごしています。  
しかし、このことがうまく共有できない音楽家が存在していることも事実なんですよええ・・・（涙）。

頭で理解すること、できることと、感覚で理解すること、実演することの2つがあると思います。  
いいアンサンブルができるかどうかには、正直「センスの有無」もかなりの比重を持っているのだなあ、と最近改めて確信しています。  
このセンスを磨くためには、たくさん演奏を聴いてたくさん演奏（コンサートでなくても＝練習だけでも＝）をやることだと思います。

いろいろな演奏に触れて、お互いセンスを磨いていきましょうね～！！:)

## [3] おすすめ動画

『CZARDAS from album "GENESIS" -Grant Jameson』

<https://www.youtube.com/watch?v=s-UX6A5qrtc&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=1>

先月は2つともTromboneの動画だったので、今月はEuphoniumの動画を2つにしますね。 :)

一つ目は、Grant Jameson氏のCDからの演奏です。

彼との面識はないのですが、とてもきちんとした演奏で、僕はすごく好感を持っています。 :)

ぜひ聴いてみてください！

『Glenn Van Looy with In League with Extraordinary Gentlemen』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=rFrrAVfxWjc&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=8)

[v=rFrrAVfxWjc&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=8](https://www.youtube.com/watch?v=rFrrAVfxWjc&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=8)

2つ目の動画は、たぶん過去にも何回か登場したことのある、ベルギーの若手名手、Glenn(Van Looy氏) の演奏です。

この曲、CDで聴いたことがあるだけで持っていないし吹いたこともないのですが、とっても大変そうな曲です。

そういう曲のライブ演奏の様子が観れるのは、いろいろと勉強になりますね！ :)

#### [4] 演奏のヒント！

##### 『連符の練習』

先日、数か月前から講師として教えることとなったESA音楽学院でのレッスンで、連符の練習をしました。

そのとき、意外と連符を練習する上で苦労している人が多いように感じたので、今日は連符の練習について書いてみようと思います。

よく楽譜で出会うことのある連符は3連符や6連符だと思いますが、今回は5連符、7連符、11連符、13連符など、頭の中でパッと思い浮かびにくい連符の練習のやり方について書きますね。

まずは、どの連符のときでもそうですが、均等に吹くための練習として「言葉」を当てはめて口で言う練習をしてみます（「均等に吹くための練習」という認識をちゃんと持ってやらないとあまり意味がないと僕は思っています）。

その時の工夫として、僕は次の拍の頭の音までをカウントして言葉を当てはめるようにしています（例えば7連符なら8文字の言葉を当てはめて次の拍の頭の音までカウントして練習します。次の拍の頭に音がない場合は自分で適当な音を入れて練習します）。こうすることによって、より均等に演奏しやすくなると思います。

「言葉選び」も大事になってきます。  
例えば「大きな（おおきな）」など「びっくり」のように同じ文字が続いていたり（特に母音）、小さい「つ」があったりすると均等になりにくいので、気をつけて避けるようにしてください。

例を挙げると、僕の先日のレッスンでは7連符だったのですが、「8文字で速く（テンポが速かったので）言いやすい言葉」という条件で「鹿児島福岡（かごしまふくおか）」という言葉を使いました。

まずは、メトロノームと一緒に普通に口で均等に言えるように練習します。その後、その言葉に楽譜に書かれている音程を付けて言う練習をします。

その後、口で言葉を言いながらそれに合わせて指（Tromboneの場合は腕＝スライド）を動かしていきます。

この時の注意事項として（8文字言葉の場合だと）1つ目と8つ目のタイミングを「常に確実に」合わせて練習をしてください。間に合わなくても、です。

できない状態＝2～7つ目の音がちゃんと収まらない＝という状態にしていきます。

間に合わなくても最後の8文字目（次の拍）のタイミングで8つ目の音の指（ポジション）に持っていくようにして練習を重ねていきます。

そうした方が、どのくらい間に合っていないのかが具体的にわかりやすくなります。

それからは、少しずつゆっくりなテンポから最終的に自分が演奏したいテンポまでコツコツと上げて練習していきます。

このように練習を重ねていくと、「どのくらいのスピードで吹かないと入らないのか」がきちんと把握できてきますし、最終的には「ちゃんと」吹けるようになっていきます。

黒い音符を見ると、見ただけで「難しい！ムリ！！」とってしまいがちですが、ぜひ諦めないでやってみましょう。

必ず吹けるように（少なくとも聴いてる人にとっては吹けているように聴こえさすことはできるように）なりますからね！！ ;)

-----  
編集後記

明けましておめでとうございます！  
2017年もよろしくお願ひします！！ :D

今月号は、「演奏のヒント！」が長くなってしまったので、  
「旬な話題、気になる話題」を短くしてみました。：)

みなさん、今年の目標のようなものはありますか？

僕は（年始に限らず）機会があれば目標を作って、その達成に向かって過ごしていくようにしています。

今は「移動に関して、余裕をもって行動する」こと、「読書の時間をちゃんと確保する」こと、そして「フランス語とドイツ語の勉強を少しずつでもやっていく」ことが目標となっています。

今のところ、勉強以外はできているように思います。

一年一年が歳を重ねるごとに短く感じてきますが、「自分のやりたいこと」に向かって毎日コツコツと前進をし続けていこうと思います！

お互いにいい年にしていきましょうね！！

-----  
阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)  
-----

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>